

(仮称) 桜川市複合施設基本設計概要書

注…この内容は基本設計完了時のものであり、実施設計の中で内容が変わることがあります。



鳥瞰イメージ図 (南東より)

1. 計画概要

- 【敷地概要】**
- 建築場所 : 茨城県桜川市東桜川 1-21-1
 - 主要用途 : 公民館・図書館・市役所支所機能
 - 都市計画区域 : 都市計画区域内 (市街化区域)
 - 用途地域 : 第一種住居地域
 - 建ぺい率 : 60%+10%(角地)
 - 容積率 : 200%
 - 日影規制 : 3-5 時間 測定面高さ 4.0m
 - 道路斜線 : 適用距離 20m 勾配 1.25
 - 防火地域 : 指定なし
 - 地区計画等 : 指定なし
 - 敷地面積 : 7,790 m² (商工会議所部分含む)

- 【建築概要】**
- 建築面積 : 約 1,490 m²
 - 延べ面積 : 約 3,500 m²
 - 構造規模 : RC造一部鉄骨造 / 地上 3 階
 - 耐火種別 : 耐火建築物
 - 建物高さ : 約 16.8m
 - 建ぺい率 : 約 19% (上記敷地範囲に対して)
 - 容積率 : 約 46% (上記敷地範囲に対して)



外観イメージ図



内観イメージ図

2. 設計コンセプト

桜川の“風景・文化・活動”をつなぐ『さくらがわcommons』

(仮称) 桜川市複合施設は、あらゆる学びの拠り所となる「図書館」、多様な活動の舞台となる「公民館」、そして市民の生活を支える「市役所支所」の3つの機能が集まった施設となります。また、敷地の前面には市を象徴する河川「桜川」が流れ、周辺には高峯のヤマザクラに代表される豊かな里山の風景が広がっています。

「図書館」は、市として初めて整備されることから、デジタル技術(電子図書館やデジタルアーカイブなど)の活用等も踏まえた、これまでの図書館像に捉われない桜川市ならではの在り方を目指します。そして、価値観が多様化する現代における様々なニーズにこたえる「公民館・市役所支所」を“融合”させ、周辺の豊かな環境も取り込んだ計画にすることで、市民ひとりひとりが自分の居場所として心から感じられ、桜川の“風景・文化・活動”が将来に渡りつながっていく『commons』としての施設を作ります。

「さくらがわcommons」の基本的な考え方

(仮称) 桜川市複合施設の基本方針
(仮称) 桜川市複合施設建設事業計画書より

公民館と図書館の融合が生み出す
新たな学習スタイル

先進の図書館+公民館の再生
=利用したくなる学習施設

知識と学び、人と人が交わる、
活動と交流のフォーラム

まなびの舞台としての「commons創出」



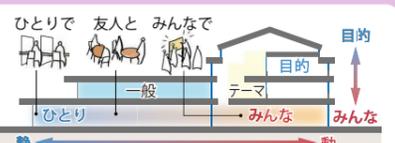
「人的支援(レファレンス等)」と「コンテンツ(本や資料)」と「多様な活動の場(空間)」が近接した「commons」をつくることで、新しいまなびと出会いを生み出します。

魅力をつなぐ「立体回遊ミュージアム」



魅力的な風景を感じながら、賑わいや多様なコンテンツが連続する立体回遊空間とし、誰もが利用したくなる『ミュージアム』のような場所としシビックプライドの醸成にも寄与します。

多様な居場所「サードプレイス」



みんなで議論をしたり、イベントに参加してもよい、一人静かに本を読んだり、コーヒーを飲んだりしてもよい、誰もがここにいたいと心から思える多様な居場所を作ります。

※commonsとは・・・市民や職員により自発的に多様な活動が展開し、その経験や記録が共同知として共有されていくことで継続的に発展・運用される場の在り方。

「さくらがわcommons」を生み出す4つの特徴

桜川commonsの特徴①

さくらがわテラス (仮)

前面の桜川や周辺の里山の風景や植生なども学びのコンテンツととらえた自然学習の場として設けます。

気持ちのいい外部空間での読書や公民館機能と連携した利用など、外部での多様な活動の受け皿としても機能します。

桜川commonsの特徴③

クリエイティブハブ & スタジオ (仮)

市民が多目的に自由に使える協働の場として設けます。

様々な工作や撮影など多目的に使えるスペース「スタジオ」と図書館のブラウジングコーナー・市役所支所の待合所・カフェ等がセットになったワークスペース「ハブ」をベースとします。

この空間の一部は、防音カーテンで簡単に区切りイベントステージとして利用できるなど、状況に応じて多目的に利用できる場所とします。

桜川commonsの特徴②

さくらがわミュージアム・メディアマウンテン (仮)

吹抜けに面した大きな段状の壁面棚で、桜川市ならではのあらゆるメディアが集まる、まさに市特有の「ミュージアム」のような場所です。

桜川市独自のコンセプトで選考された本や資料、公民館での活動履歴や成果品の展示、関連部署が収集・制作した資料・物品の展示、更には図書館基本構想(R2.12)に示されるデジタルミュージアムのコンテンツなど、多種多様なメディアが展示可能な棚として設けます。

定期的に変化・更新され、わかりやすい展示形態をとることで、常に新鮮な発見に出会えるような在り方を目指します。

桜川commonsの特徴④

さくらがわひろば (仮)

桜川の各種お祭りや外部でのイベントが開催できるよう、南面駐車場は「ひろば」としても使える計画とします。

ホールと連携使用できる建具の設置、夏場の照り返しが少なく水はけの良い舗装とするほか、外部電源や給排水を設けるなど多目的に使える設えとします。

